

## 水稲

米穀販売課

### 平成25年産 米の買入・検査実績について

平成25年産米の買入・検査はほぼ終了。平成25年産米は経験のない豪雨や台風、真照・低温で降雨の日数も多く穂もち病が発生しましたが、斑点米被害が例年より少なかったことから、高い1等米比率となりました。皆様のご協力に感謝申し上げます。

#### ◎平成25年産米買入・検査実績

①買入袋数……184万7718袋  
申出対比集荷率……91・89%

#### ◎検査等級別

①1等米……179万2897袋  
1等米比率……97・03%  
②2等米……4万8624袋  
2等米比率……2・63%  
③3等米……2219袋  
3等米比率……0・12%  
④規格外……3978袋  
規格外比率……0・22%

(平成26年1月6日現在)

平成26年産米につきましても、「200万袋集荷運動」は継続し、需要に即した集荷販売に努めてまいりますので、皆様の一層のご協力をお願い致します。

また、ケイ酸質肥料の基肥施用によっていもち病の発生が軽減が期待できますので、土づくり肥料「賢治の教え」又は、けい酸質肥料の使用を考えましょう。

#### ▼お問い合わせ

米穀販売課 ☎0198-22-6150

## 果樹

園芸販売課

### 良品質りんご生産へ剪定作業本格化

りんご農家の皆さんはいよいよ剪定作業が本格化していることと思います。剪定は、一年の果樹栽培の最初の仕事で、最も重要とされる作業です。りんご農家の皆さんは昨年の反省を踏まえ、更なる良品質生産へ向けて作業にあたっていただきたいと思います。

県の調査による26年産りんごの花芽の状況は、主要品種における花芽率が平年よりも高く、弱小花芽率は平年よりも低い傾向にあります。その最大の要因として、花芽形成期である昨年7月の気温が低めで経過したことが挙げられます。但し、昨年に着果量が多かった園地などでは弱小花芽が見えるところもあり、園地によるバラツキも確認されています。

剪定にあたっては花芽の状況をよく観察し、栽培管理の効率化、受光体制の維持、農薬の到達性などに留意しながら作業を進めましょう。また、腐らん病は見つけ次第、剪除や削り取りなど適正な処置をし、それらを園内に放置しないようにしましょう。



りんご栽培は「剪定に始まり剪定に終わる」と言われるほど、1年の栽培管理の中で最も重要な作業です。

#### ▼お問い合わせ

園芸販売課 ☎0198-22-6217

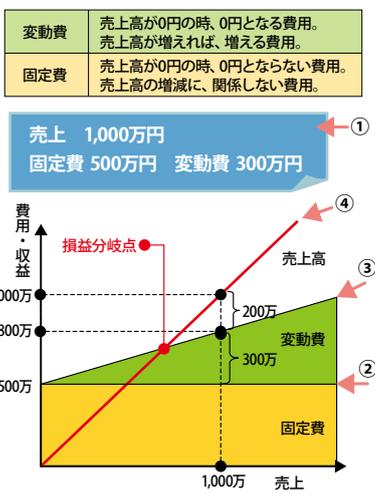
## 畜産

畜産販売課

### 見てみよう！ 自分の経費と売上の関係

平成25年の決算は、お済みですか？ 昨年の経営目標、計画は達成できましたか？ せっかくなので決算書です。確定申告が終了したら引き出しにしまつ前に、少し分析してみましょう。

① 損益計算書の勘定科目を変動費と固定費に分けてみましょう。  
② 固定費の線を引きます。  
③ 昨年売上時の変動費金額の点を決めます。図のように線を引きます。  
④ 利益の点を取り、線を引きます。  
これで、損益分岐点を求めることができます。今年の経営計画を考える材料になりますよ。詳細については、農協、普及センターまでご相談ください。



#### ▼お問い合わせ

畜産販売課 ☎0198-23-3672  
または中央農業改良普及センター ☎0197-68-4464